

まちたん ～まちのお宝探検隊～

後世に伝えたい宝物
～高根編～

まちの自然

高山市の東端、長野県境に位置する高根町は、北に乗鞍岳、南に御嶽山と、二つの3,000m級の山に囲まれた、山岳景観の美しい地域です。御嶽山のすそ野に広がる日和田高原を中心とした、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアは、文部科学省のナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点に指定され、世界トップクラスのアスリートにも利用されています。



子ノ原高原からの乗鞍岳



ハイランド陸上競技場と御嶽山

野麦峠のむぎまつげ
標高1,672mの野麦峠につながる旧野麦街道は、鎌倉街道、江戸街道とも呼ばれ、飛騨と信濃を結ぶ重要幹線道路のひとつでした。明治から大正時代には、製糸工女として出稼ぎに向かう娘たちも

通りました。生糸の輸出を支えた女工史は、小説や映画「あゝ野麦峠」でも語られています。現在、旧街道は、ハイキングコースにもなっており、新緑、紅葉を眺めながら森林浴が楽しめます。



乗鞍岳と工女・政井みねの碑



野麦峠

また、野麦峠には、当時の工女が休憩したお助け小屋が復元されており、休憩、食事をするができます。

一位森八幡神社社叢

昭和50年6月26日、国指定天然記念物に指定された神社社叢には、大小約250本にも及びイチイの原生林が残されています。そのうち最大のもは、目通り幹周囲2.85m、樹高10mで、樹齢500〜600年といわれています。この原生林は県下でも希少なイチイの森として地域住民に大切にされています。神社は、養和元年（1181年）、木曾義仲が飛騨へ討ち入りの際、勸請鎮祭したと伝えられています。毎年、8月13日の例大祭には、神幸、日和田神楽（日和田獅子）、おかめの舞、神代踊、祝い唄「日和田めでた（三つ重り）」が伝承されています。



一位森八幡神社社叢

こころの体温計でストレス度を簡単チェック！
QRコードからアクセス▶

